



## 故郷ベトナムの 美味しいコーヒーやアボカドを 日本の皆さんに届けたい

グエン ホアン タン ヒエンさん (ベトナム出身)  
人文社会科学部 経済学科 (2021年卒業)  
2021年10月よりSUS株式会社 勤務

環境サークルや外国人児童支援のボランティアに積極的に参加しているヒエンさん

私が静岡大学に留学したいと思った理由は、企業と交流する機会が多く、ABPプログラムの奨学金制度が充実しているからです。コロナの感染拡大でいろいろ大変ですが、学費の支払いには困らずに過ごしています。他大学に通っている友達に比べたら自分は本当に恵まれていると思います。

所属した国際経済学ゼミでは、アジア全体の医療状況と感染拡大対策について研究しました。恵まれた環境で勉強やサークル、ボランティア、就職活動などができて、充実した大学生活となりました。

これからは、学んできた知識と言語能力を活かして、ベトナムに関係した事業に力を入れていきたいです。ベトナムの美味しいコーヒーやアボカドを日本に輸入できるよう、システムを作り、多くの人に届けることが私の目標の一つです。



甘くて濃厚なベトナムコーヒーを飲むとほっとする。



アジアブリッジプログラム(ABP)は、静岡県とアジア諸国の架け橋として活躍する人材を育成するため、企業や自治体と連携して、静岡大学で学ぶ留学生を応援しています。ご支援いただいている企業の皆様への感謝を込めて、活動をご報告します。



### //////////////////// アンケートへのご協力のお礼とプレゼントのお知らせ //////////////////////

静岡大学広報誌「SUCCESS」vol.26はいかがでしたか? 誌面に対するご意見・ご感想をWEBアンケートにて、お寄せください。今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。アンケートにご協力いただいた方には、抽選で50名様に前号ご好評いただいた静岡大学全学入試センター提供のオリジナルグッズ(マスクケース)をプレゼントします!なお、当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



左記QRコードによりアクセスいただき、WEBにてご回答ください。  
応募締切:2021年12月31日(金)



デザイン:齋藤麗愛さん  
(教育学研究科 2021年修了)  
提供:全学入試センター

### 編集後記

今号より、編集を担当します広報室 山下です。25号まで読んでくださった皆様の信頼を裏切らないように、というプレッシャーがありますが、今まで以上に生き生きとした静岡大学の“今”をお届けできるよう、誌面づくりに励んでいきたいです。今号では、SDGsの取り組みと農学部の学生の活躍を特集しました。自然豊かな静岡で、のびのびと研究に励む教員・学生の姿を皆様に伝えることができれば幸いです。



# SUCCESS

静岡大学広報誌 サクセス

特集

## 静岡大学SDGs宣言! 学生の活躍

／ドローンを使ったスマート農業の実習  
／静大農場の果物で作ったマーマレードが金賞受賞

Shizuoka University  
Current affairs &  
Connective paper for  
Every graduate  
Student &  
Staff



Autumn 2021





# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGs」とは2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標」です。17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (Leave no one behind)」という理念を掲げています。

## 持続可能な社会と人々のウェルビーイングを目指して

静岡大学は、持続可能な社会の実現に向けて、複雑な社会的課題に多面的・戦略的にアプローチし、SDGsの17の達成目標のすべてに組織的・統一的な取組を進めています。今号では本学が取り組む研究活動の事例を紹介します。



絵本「どうぶつといっしょにちぎゅうのみらいをかんがえよう〜もりはかんたんにはかいふくしないんだ〜」より

### 全国フォーラムでESDを軸とした質の高い幼児教育を推進

～日本平動物園とのコラボで「SDGsデジタル絵本」を作成～

教育学部 田宮 縁 教授

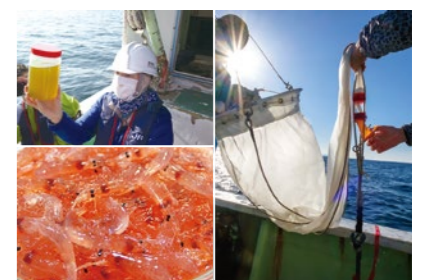
持続可能な開発のための教育「ESD: Education for Sustainable Development」を基軸とした質の高い幼児教育の推進と学校種間の接続をテーマに、「全国幼児教育ESDフォーラム2020」を開催しました。加えて、他団体との連携し、ESD実践研修会(テーマ:持続可能な社会の創り手を育む生活・総合)も全国規模で実施し、SDGs達成の中核的な担い手となる教師の教育を推進しています。具体的な取り組みとして、SDGsを幼児や小学校低学年の子どもたちにも理解しやすいように、静岡市立日本平動物園で人気のオランウータンを主人公とするSDGsデジタル絵本(電子書籍)を作成して動物園HPより公開しています。子どもたちの興味関心を高める取り組みとして、メディアでも紹介されました。



### 駿河湾のサクラエビ不漁問題解決に向けた生態系と海洋環境の科学的調査

創造科学技術大学院 ベアトリス・カサレト 特任教授  
サステナビリティセンター 鈴木利幸 特任助教

近年、地球温暖化による海水温の上昇、河川流量と土砂流出の増加により、海洋環境が急速に変化しています。2018年からサクラエビの漁獲量は急激に減少し、春漁・秋漁は縮小・中止に追い込まれ、漁業者・関連業者に打撃を与えています。県・市・漁協と協力しながら科学的な調査を実施し、不漁の原因の解明と技術開発等の解決策を示します。駿河湾のプランクトンと化学成分の季節変化、サクラエビの資源量推定のための動態の調査、卵から稚エビまでの孵化実験を行い成長過程における餌の種類とサイズを確定しました。



国内のサクラエビの水揚げは駿河湾のみ



吉川真理教授(左)と朱曄教授(右)

### スマート・シティにおけるAIの実用化を見据えて法的基盤などを構築

サステナビリティセンター 法実務部門 朱 曄 教授  
サステナビリティセンター 法実務部門 吉川真理 教授

AIなど先端技術の利活用に関する課題を法学、倫理学、社会学、情報工学など学際的なアプローチにより考察します。さらに、AIなど先端技術の利活用によるスマート・シティ構築をめざす裾野市に対して、必要とされる情報・データの取り扱い、住民との合意形成、住民主体のまちづくりに向けて自治体が果たす役割や課題について、「法」や「AI」など専門的な分野から助言を行うことにより、地域課題への実践的貢献を目指します。



### 低炭素循環型社会構築に向けた未利用バイオマスからのバイオ燃料およびプラスチック原料生産技術開発

農学部 平井浩文 教授

人口が急激に増加し、地球温暖化が深刻化する中、再生可能資源であるバイオマスを原料に、バイオ燃料や樹脂などを製造する「バイオリファイナリー技術」の確立は、重要な課題です。これまでに、木材中のリグニンという物質を分解する能力をもつ白色腐朽菌を用いたワンステップ木質バイオリファイナリーに関する研究を展開し、木材中のセルロースからエタノール、乳酸、酢酸、キシリトール、水素を産生できることを報告しました。低炭素循環型社会の構築とゼロエミッションの達成に向けて、白色腐朽菌によるリグニンからの物質生産技術の確立に取り組みます。



バイオマスの状態を確認する平井浩文教授



ドローンの基礎知識や操作方法を株式会社豊富の松浦真悟氏(左端)から学びました



農業現場の負担をもっと減らしたい!

## ドローンを使ったスマート農業の実習

附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールドで農場実習を実施しました。

### ロボットやICTを活用したスマート農業で省力化を目指す

日本の農業は、人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化や負担軽減、人手の確保が課題となっています。

そこで、ロボット技術やICT(情報通信技術)を駆使した「スマート農業」の活用が期待されています。

農学部では、8月、静岡県、静岡市、静岡商工会議所、JA、静岡大学を中心メンバーとする「静岡市スマート農業研究会」と連携して、2年生を対象にドローン操作の実習を行いました。

農林水産省によるスマート農業の今後の展開を

見据え、将来を担う学生たちにドローン技術に実際に触れる機会を持ってほしいとの狙いから実習を実施しました。

### 農学部による新たな農知の創造

農学部ではプロジェクト研究所として令和2年1月より「農知創造研究所」(所長 切岩祥和教授)を組織し、これまでの農学部が主に培ってきた生理学的知見に工学や情報学の技術を組み合わせた新しい技術の構築を目指しています。

また、静岡大学が中心メンバーである「静岡市

スマート農業研究会」は、静岡市におけるスマート農業の推進をサポートするため、講演活動や課外授業など積極的に活動をしています。今後も、産官学連携を深め、地域に寄り添いながら地域の産業の活性化に貢献し、新たな農知の創造に挑戦します。

実習後にドローンを操作して空から集合写真を撮影しました



## 静大農場の果物で作ったマーマレードが国際コンテストで金賞に!

### 4年連続、金賞受賞の快挙!

イギリスで開催された国際コンテスト「ダルメイン・マーマレードアワード2021」で静岡大学農学部が「四季のジャム工房 やまゆスイーツ」(藤枝市)とともに開発したマーマレード3商品(金柑、黄カボス、柚子)が金賞に輝きました。4年連続の快挙です。

商品に使われている果物は、農学部の藤枝フィールドで農業散布数を通常より約1割減らして栽培したものです。実際にテストングをして糖と酸味のバランスがよいものを選定



毎年12月頃に収穫する金柑

し、加熱時間にこだわって果物のうま味を最大限に活かした手作りマーマレードです。添加物を使用せず、優しい味わいが特徴です。この5年間で柑橘類20種類、ブルーベリーやキウイフルーツ数種類が開発されています。

### 金賞受賞を記念して学生がラベルをデザイン

藤枝フィールドで卒業研究に取り組んでいる農学部4年生の高橋理緒さんは、金賞受賞を記念して瓶のラベルをデザインしました。果物のイラストと「静大農場」の文字、「金柑まーまれーど」などの商品名、そしてやまゆの屋号がワンポイントで入っています。ヤマ型と「ユ」で表した屋号は店主の小野延子さんの高祖父の代から営まれていた食品加工業の屋号に由来します。優しい味わいのジャムと同様、開発パートナー同士の想いが詰まったラベルになりました。



- 金柑** 植物生産管理学研究室(八幡昌紀准教授)により品種改良され、果皮が柔らかく、色も濃く、味も濃厚でマーマレードに適しています。
- 黄カボス** 果皮果肉が黄色の成熟した状態で収穫され、上品な香りと爽やかな酸味が特徴です。
- 柚子** 完熟した状態で収穫された本柚子は、酸味と甘みのバランスが調和しています。

やまゆスイーツ 小野延子さん

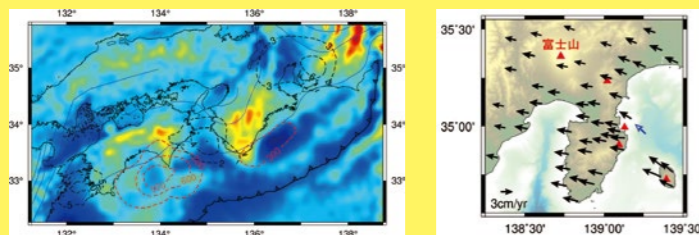


[ 購入先 ]

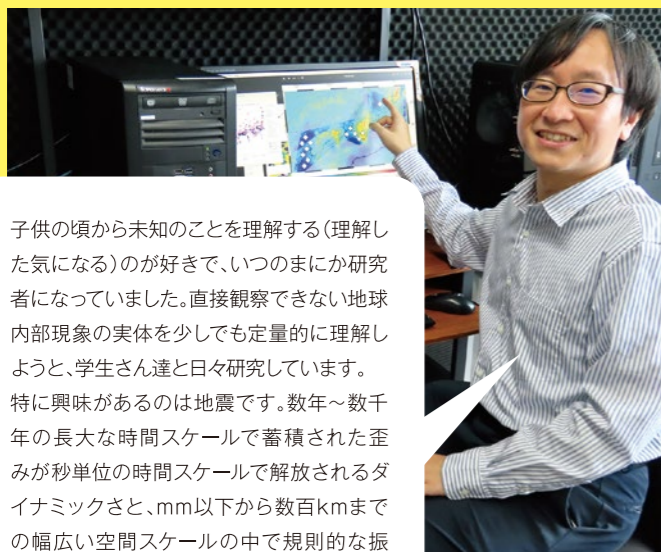
四季のジャム工房 やまゆスイーツ  
Mail:yamayusweets@yahoo.co.jp  
Instagram:IG@yamayusweets  
Tel:054-645-3935  
やまゆスイーツ ウェブサイト----->



静岡大学 農学部  
附属地域フィールド科学教育研究センター  
藤枝フィールド  
Mail:nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp  
Tel:054-641-9500



西日本の重力と過去の大地震・スロースリップイベント分布 静岡県東部の地面の動き



子供の頃から未知のことを理解する(理解した気になる)のが好きで、いつのまにか研究者になっていました。直接観察できない地球内部現象の実体を少しでも定量的に理解しようと、学生さん達と日々研究しています。特に興味があるのは地震です。数年~数千年の長大な時間スケールで蓄積された歪みが秒単位の時間スケールで解放されるダイナミックさと、mm以下から数百kmまでの幅広い空間スケールの中で規則的な振る舞いが見られる不思議さがあります。人類にはまだ難しい研究対象ですが、何らかの貢献ができればうれしいです。

地下で起きている現象の実体を理解するためには、膨大な観測データから情報を抽出して適切なモデル化を行う技術を駆使する必要があります。人工衛星の観測による地表変位、重力変動、並びに地震計データなどの統計・物理モデリングに基づき、地球内部現象の機構を研究している。一例として、全世界のプレート沈み込み帯における中規模地震の活動度が、周辺領域での降水等に伴う重力の年周変化の振幅と正相関することを見出した。最新の機械学習技術の導入にも取り組んでいる。

現在、富士山や伊豆半島など静岡県の特徴的な表層事象の研究も進めており、駿河湾の大きなプレート境界すべりの再来やゆっくりすべり(スロー地震)の考察にも役立てたいと考えている。

## 統計・物理モデリングに基づく固体地球変動の解析

三井 雄太  
MITSUI Yuta

理学部 地球科学科 准教授



研究室ウェブサイト

## より人間に近い自然言語処理システムの構築へ

狩野 芳伸  
KANO Yoshinobu

情報学部 行動情報学科 准教授



研究室ウェブサイト

より人間と親和性が高く、人間に近い振る舞いをするような言語解析器を構築し、そこに音声処理も統合して対話システムを構築することが目標の一つだ。また、その応用として、会話ゲーム「人狼」の人工知能プレイヤー作成や、キャッチコピーや小説など文章の自動生成を行うプロジェクトも推進している。上記の研究成果をもとに、各分野で以下の目標に向けて研究を行っている。

- ・脳神経科学…学術論文からのテキストマイニングによる大規模知識の抽出
- ・法律文書処理…司法試験問題の自動解答をテーマに裁判の自動化支援
- ・医療言語処理…電子カルテからの知識抽出、会話データからの精神疾患・発達障害の自動診断支援など

私の興味は人間の知能の仕組みにあり、人間が意思疎通のために日常的に用いる自然言語はその中核と考えています。自然言語処理システムが、人間並みに言語を操るためには、言葉の理解や生成に加え、意思・常識・推論や世界の理解といった高度な知的処理が含まれるからです。その工学的応用には大きな社会的インパクトがあり、あくまで人間が話す言葉こそが自然言語であり、科学的探究と工学的応用が表裏をなしていることが特徴です。社会に研究の現状をなるべく正確にわかりやすく伝え、適切な産業応用を促進することも研究者の使命の一つと考えています。



人間の言葉をコンピュータで処理する解析技術である自然言語処理

タンパク質はアミノ酸が繋がってできる生体高分子の一つで、その多くは翻訳後修飾と呼ばれる“お化粧”を施すことで本来の生物活性を示している。遺伝子組み換え技術が発展し、タンパク質の調製が容易になった今、糖尿病治療薬(インスリン)や抗体医薬品など医薬品への応用も広がっている。しかし、品質管理や薬効最適化の観点から遺伝子工学的手法では翻訳後修飾の制御が難しいことが課題である。そこで注目したのがタンパク質の化学合成法である。複雑な翻訳後修飾が施されたタンパク質であっても単一分子種として調製可能であり、遺伝子工学的手法ではアプローチできない人工タンパク質をも創出できるという利点を生かした研究に取り組んでいる。

## 合成化学を起爆剤とするタンパク質科学のパラダイムシフト

佐藤 浩平  
SATO Kohei

工学部 化学バイオ工学科 助教



研究室ウェブサイト

## 光の飛行時間を利用した高精度な3次元イメージング

安富 啓太  
YASUTOMI Keita

工学部 電気電子工学科 准教授



研究室ウェブサイト

「光飛行時間」(Time-of-Flight, TOF)という、光源から発せられた光がカメラに戻ってくるまでの時間により距離を算出する方法を利用した、3次元計測イメージセンサ(レンズから入ってきた光を電気信号に変換するセンサ)の開発に取り組んでいる。

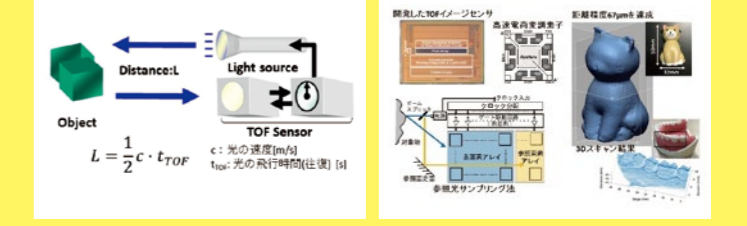
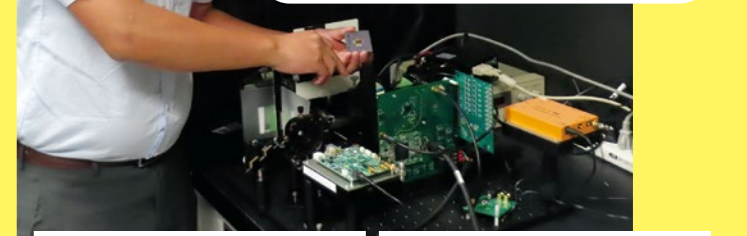
他の3次元計測手法に比べ、小型化や高速化に優位性はあるものの、高い距離精度を得ることは難しいとされてきた。そこで、独自のTOF計測手法と高速な電荷変調画素、参照光サンプリングの開発によって、TOFセンサとして世界で初めて100マイクロメートル以下の距離精度を実現した。今後、さらなる高距離精度化を進め、マイクロメートル距離精度を実現させて、3次元スキャナなどの計測用途に耐えうるTOF距離撮像素子の開発をしたい。



有機化学が切り拓くタンパク質科学  
天然物を凌駕する人工タンパク質の創製  
ペプチドオエステルの新規合成法の開発  
ペプチドの効率的合成・精製法の開発  
ペプチド・タンパク質の合成法開発を基盤に、人工タンパク質創製まで応用展開している。

私たちがタンパク質の有機化学的研究に没頭しているのは、その「機能美」を一分子の微視的なレベルで理解し、自在にデザイン・合成したいと考えるからです。タンパク質は生命現象のキープレイヤーとして機能する生体分子で、生命の設計図といわれるDNAには、タンパク質の構造が描かれています。そこに生命という複雑なシステムを支える「精密な分子機械としての機能美」があるのです。ミクロな視点でのものづくりを通じて、サイエンスの美しさ・面白さを学生の皆さんと共有し、一緒にワクワクできる教育研究を目指しています。

私は静岡生まれの静岡育ちで、現在、母校の静岡大学で工業計測や歯科応用にに向けた「高精度なTOF距離撮像素子」の技術開発に取り組んでいます。光は1秒間に約30万km(地球の赤道約7周半)、1ナノ秒(10億分の1秒)の間に30センチメートル進みます。したがって、これまでの成果では、数100フェムト秒(10兆分の1秒)の極めて短い時間の計測ができています。イメージセンサ技術をもとに、より高い時間分解能を達成し、高速・多点同時計測などの特徴を活かした新しいイメージングを創出したいと考えています。



光の飛行時間(TOF)を利用した距離計測 開発した高精度TOFイメージセンサと撮像例

## 植物を追求して、 社会に貢献したい

### は せ が わ か な 長谷川 佳菜 さん

農学部 生物資源科学科 (2017年3月卒)  
横浜植木株式会社 勤務 (商品開発 ブリーダー)

1994年生まれ、山梨県立甲府西高等学校卒  
趣味はキャンプ。好きな言葉は「戒驕戒躁」。



### 自然環境に魅力を感じて静大農学部へ

甲府の高校から静岡大学に進学した理由は、幼い頃から植物が好きで、農学部を目指していたからです。温暖で日照時間が長く、自然豊かな静岡は、作物を栽培する環境に恵まれ、とても魅力的だと思いました。実際に、実習や講義、卒業研究を通して、野菜、果樹、花卉などさまざまな植物を勉強することができました。

### 参加してよかった「海外フィールド研修」

所属した雑草学研究室では、イタドリという雑草を用いた伝統農法について、その優位性を調べる研究を行いました。歴代の先輩の研究を引き継ぐ研究室も多いと聞きますが、当時、雑草学研究室は創立2年目だったこともあり、一から新しいテーマに取り組むことができました。試行錯誤の日々で、自主性や思考力が鍛えられたように思います。2年生の時に海外フィールド研修に参加し、10日間ほどインドネシアで現地の農業を学びました。学生同士の交流やホームステイはとても印象に残っています。



インドネシアで現地の農業を学ぶ

### 植物の新品種を開発する仕事に就いて

就職先は、植物に直接触れられる職場、特に自らの手で新しい品種を生み出すブリーダー (育種家) という職業にとっても魅力を感じて、今の会社に入りました。念願がかない、現在、ブリーダーとして商品開発の仕事をしています。開発というと、研究室の中にあるイメージが強

いかかもしれません。もちろん、調査や選抜などの仕事もありますが、各品目のブリーダーが主体となって担当作物の栽培を行います。播種から収穫、さらには次の世代の採種まで、植物の一生に携わることができるのは非常に興味深いです。

### 課外活動で出会った友人が宝物に

在学中の4年間、社交ダンス部に所属していました。3年生の時には部長を務めていたので、部活の時間外も事務仕事が多く、特に学園祭準備期間や合宿の前は準備で忙しく、同期と協力しながら隙間の時間を有効活用して進めました。計画性をもって早めにコツコツと取り組む姿勢が身につく、仕事でも活かしています。また、農学祭実行委員会にも所属し、積極的に大学の課外活動に参加しました。部活との両立は大変でしたが、多くのことを学びましたし、何よりそこで出会った友人とは今でも良い関係が続いています。



4年間打ち込んだ社交ダンス

### 大学生生活を謳歌しよう

学業、部活動、委員会活動、インドネシアへの海外フィールド研修、アルバイト、プライベートと充実した学生生活でした。大切な友人達とも出会うことができ、静岡大学に進学して本当に良かったと思っています。大学生は自由な時間が増えますし、高校生までと比べて、自分自身の選択によって圧倒的に自由に行動できると思います。その分自分の選択や行動に責任を持たなくてはなりません。自分自身が何をやりたいのか、将来のために何をすべきなのかをしっかりと考えて、限りある大学生生活を謳歌してください。



メロンの収穫物調査中

ギーへの帰属賛成意見  
ーランド票4割。国際連  
ポーランド領とするとい



## 大学での勉学が いまの私の基盤に

### きぬがさ たろう 衣笠 太郎 さん

人文学部 社会学科 (2012年3月卒)  
秀明大学 学校教師学部 助教 (専任)

1988年生まれ、鳥取県立八頭高等学校  
趣味は読書と野球観戦。  
好きな言葉は「歴史とは、現在と過去との間の尽きることを知らぬ対話である (E.H.カー)」。

### 歴史学を学びたくて、 教員と科目が豊富な静大へ

静大の人文学部 (現在の人文社会科学部) 社会学科には、西洋史・東洋史・日本史の専門家が揃っており、歴史学がまんべんなく学べることを魅力を感じて静大を選びました。人間学・社会学・文化人類学など人文学を広く学ぶ上で必要不可欠な分野も学べたことが研究の糧になっていると、研究者になった今、実感しています。

### 東日本大震災を機に、研究者を目指す

就職活動を始めた頃は、民間企業に、と想着ていましたが、営利を追求する民間企業とのミスマッチを感じるようになり、2011年春、4年次になってから研究者志望へと変更しました。東日本大震災が発生し、就活が中断したときに、改めて自身の適性を見つめ直し、「社会の普遍的真理を追究したい」という思いが強くなっていったのです。その後、博士課程のある別の大学院へ進学し、研究者の道を進みました。



秀明大学で外国史概説や世界近現代史を担当

### 3~4年次は2つのゼミに所属

私の専門は近現代の中東欧史で、静大での幅広い勉学が基盤になっています。まず、初修外国語のドイツ語がドイツ近現代史の基礎を作ってくれました。2年次は歴史コースに所属し、3年次からは現代ドイツ史と古代ギリシア史について学ぶため、2つのゼミに所属しました。1つは世界近現代史ゼミで、岩井淳先生に西洋史家としての基礎を叩き込まれ、戸部健先生からは中国近現代史の面白さを教わりました。もう1つは世界比較文明史ゼミで、澤田典子先生と故重近啓樹先生が私の拙い発表に温かいコメントをくださったのを覚えています。今でも先生方とは、歴史研究者の先輩・後輩として交流が続いています。

### 学生時代の仲間は今も支えに

在学中は、片山寮という学生寮に住んでいて、それが日常生活のほぼ全てでした。4人部屋での濃密な集団生活を送っており、サークルも寮内の野球サークルという浸りぶりでした。何より良かったのは、同期の仲間ができたこと。今も機会があるごとに話をし、さまざまな悩みも晴れます。大学生活では、高校までと違い、日本各地・世界各国から進学してくるので、それだけ自分の世界も広がります。学内・学外を問わず、多くの人と知り合うことができるので、そこで築く人間関係が人生を豊かにしてくれて、私の財産になっています。

### 想定外!? 「教育活動」に大きな喜び

大学教員として働く毎日に大きなやりがいを感じています。研究活動や執筆活動は当然ですが、想定外に手ごたえを感じているのが教育活動です。講義やゼミの準備には多大な労力と時間がかかりますが、学生たちが熱心に話を聞いてくれる姿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。学生たちには学術をより深く学んで専門性を身につけてほしいと思いながら教えています。私が専門とする歴史学は、実は情報リテラシーに直結する学問分野でもあり、情報化の時代に私生活でも活かされる場面が増えているのを、私自身日々感じています。後輩の皆さんにも同じように「人生の基軸となる専門性」の獲得を、ぜひ目指してほしいです。



自著「旧ドイツ領全史」(2020年刊行)を手に

先輩が後輩に送る!

# 静大生 アドバイス掲示板


## キャンパスライフ

Campus life

### 授業勉強

学情(学務情報システム)は夜中3~5時まででは使えないが、2時59分にログインすれば3時以降でも使用できる。(5時まで使うためには、1時間ごとのログインが必要)

\ Login! /



体育は友達を作るきっかけになるので履修すると良い授業

### 生協・食堂関連

生協のTwitterをフォローしておく、食堂の情報が届く






静大生協  
(静岡キャンパス)  
twitter



静大生協  
(浜松キャンパス)  
twitter


文具や本などが組合員割引になる

食堂で話しかけられたくない時は奥の方に座ると見つからない(お茶を入れる機械の近くや手前に座ると、「よっ友」対応で忙しい)




### エントリーシート

どこの企業にも使える自己PR文を汎用フォーマットとして用意し、それを編集して使うと楽。



エントリーシートはWordがおすすめ。誰もが添削しやすい。

写真は、写真館や学校(生協)など、しっかり撮ってもらうと安心。プロにメイクをしてもらうとなお良い。




## 就活

Job hunting

大学の就職支援室でエントリーシートを添削してもらえる(要予約)。知り合いの社会人、マイナビなどの就活システムなどに、いろんな人に添削してもらうと安心。

エントリーシートのWordのファイル名は提出期限にしておき、デスクトップに貼っておくと忘れないで済む。




10月18.docx

履歴書は、志望理由だけ空けて書いておくのと急に提出を求められたとき安心。

### 面接対策

男女問わず、腕時計があると便利(スマホを取り出せない状況多し)



### オンライン対策

逆光に対応するためPC用ライトを使用するとよい(100均でOK!)




### 静岡キャンパス

Shizuoka campus


キャンパス内に猫がいる



夏に共通教育B棟前の芝生?に入ると蚊に十数個刺されるからスプレーしていく





芝生のグラウンドと体育館は予約すれば誰でも使用できる。




### 浜松キャンパス

Hamamatsu campus

静大前と一つ手前の停留所で料金が変わるので早めに降りた方が良い。

5コマ後にバスに乗ると渋滞に巻き込まれて駅まで30分くらいかかってしまう。



総合棟(一番遠い棟)の上からの夜景は素晴らしい。



私たちの  
研究室  
Our laboratory

# 理学部数学科 毛利研究室

僕たちが夢中になっているのは、算数じゃない。

数学  
です！



## 毛利 出 教授

シアトル・ワシントン大学でPh.D.を取得時に、非可換代数幾何学と出会う。日本に帰国後、静岡大学にて日本で初めてとなる非可換代数幾何学専門の研究室を立ち上げ、後継者養成に尽力する。



毛利研のメンバーは、教員(1名)、博士課程(2名)、修士課程(1名)、4年生(2名)、3年生(1名)です。

毛利研が研究している

# 非可換代数幾何学…って何



代数幾何学(座標やベクトルを用いた二次曲線や空間図形で考察を深める)のアイデアや手法を用いて非可換環を研究する学問で、1990年代にアメリカで誕生し、現在欧米を中心に研究が行われています。



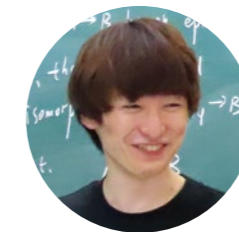
もう少し詳しく言うと…非可換代数幾何学では非可換方程式を扱い、そして非可換方程式を解くことであられる幾何について研究を行います。



## もっと簡単に 言うと…

方程式は $xy=yx$ 、交換可能ですね。非可換というのは $xy$ と $yx$ は違うもの。「交換不可能」という意味なんです。そういう方程式を解いた後にできる幾何について考えを深めていくのが、非可換代数幾何学です。

## 非可換代数幾何学を学ぶ 楽しさ、魅力は?



数学の多くはまず基本的な教科書から読み学び始めます。すなわちその分野ではある程度の常識が確立されているといえます。一方で非可換代数幾何学ではそのような教科書はなく、研究者の間で未だ常識が確立されていません。つまりさまざまな研究者がそれぞれの角度から研究を行っている分野であると言えます。早い時期からそのような研究者の一員になれることはとても魅力的です。



他の数学の分野にまたがった研究が活発なところがいい。「有限次元多元環の表現論」における問題を解決するために、非可換代数幾何学の知識を用いたり、概念を非可換代数幾何学の設定下で拡張し、性質を調べることができます。

## 毛利研の日常



**1** 実は、みんな、  
計算は苦手です…

なんだか、皆さんから「研究室のメンバーは計算が得意」というイメージを持たれているようですが、実は計算はちょっと苦手。みんなで割り勘するときに、すごく時間がかかるんです。

**2** 紙とペンさえあれば  
どこでも議論!

計算は苦手ですが、数学は得意。数学の議論は大好きです。食事中でも紙ナプキンを使って議論スタート。おもしろくて、止まらないんです。あー、この気持ち、わかるかなあ?

**3** 秘伝のノートを  
代々受け継いでます

非可換代数幾何学は新しい分野なので、教科書は存在しません。でも、代々受け継がれている秘伝の「毛利研オリジナルノート」があるんです。加筆修正を繰り返して進化していく教科書です。

**4** 研究者と交流する  
チャンスがいっぱい!

毛利研は、日本における非可換代数幾何学の一大研究拠点。国際的なワークショップも4年に1度主催し、欧米などの研究者との交流も盛んです。論文を読むだけでは得られない体験が刺激的です。

**5** 学会で、社会で、  
学生たちが活躍中

日本数学会や国際シンポジウムなどで研究発表。日本学術振興会特別研究員DC2、DC1にも各1名採択されています。先輩たちは教員や研究者、システムエンジニアなどとして活躍中です。



浜松キャンパス 正門付近の関口バラ

## 浜松キャンパス100周年記念事業「関口バラ」を植樹

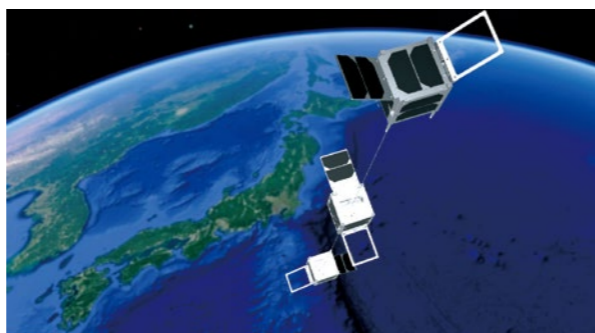
浜松キャンパスは、設立100周年を2022年に迎えるにあたり、記念事業として「関口バラ」100本の植樹を行い、喜多工学部長、笹原情報学部長のほか、学生代表、両学部卒業生で構成する浜松工業会の関係者などが参加しました。「関口バラ」は、静岡大学の前身である旧制浜松高等工業学校の初代校長・関口吉先生ゆかりの白バラ(正式名: ナニワイバラ)です。関口先生は、仁愛を基に自由啓発を校是とし、「教育は美しい環境の中で」と考えられ、学校と地域の間に塀は作らず、自らも清楚な白バラを植え生垣とされた経緯があります。この考えに感銘を受けた旧制浜松高等工業学校の第9回電気科卒業生たちは、卒業50周年記念として、1983年、浜松キャンパスの正門及び南門付近に白バラを植樹し、これまで大学と浜松工業会により大切にされてきました。春秋2回にわたり咲く白バラの香りは、今日も大学に潤いを与え続けています。

## 静岡大学キャンパスミュージアムがアカデミックな異空間にリニューアル

4月1日、静岡大学キャンパスミュージアムがレイアウトを一新し、より博物館らしい空間になりました。展示内容は、第五福竜丸事件の「死の灰」やアンデス調査による蝶の標本群、ダーウィン著「種の起源」、海洋生物、化石、キャンパスなどで発掘された考古資料群などです。年内まで開催を予定している静岡県らし・環境部環境局との共同企画「南アルプスの自然展」では、色とりどりの岩石、美しい自然を紹介しています。ぜひ足を運んでください。



県内の小中学校の児童・生徒たちも訪れている



三光STARS-ECのイメージ図

〈2021年の動き〉

- 3月14日 国際宇宙ステーションから宇宙空間に放出
- 4月16日 テザーを伸展するミッションを開始
- 5月3日 テザーが伸展していることを確認
- 5月10日 軌道上でのテザーの巻き取りに成功

Shizudai  
Mini  
News

## 超小型衛星「STARS-EC」が軌道上でのテザーの巻き取りに成功

静岡大学がSTARS Space Service株式会社の協力のもと開発した超小型衛星「STARS-EC」(軌道上で動作するロボット衛星)のエレベーター実験で、5月10日、二つの衛星の間の軌道上で速度を制御したテザーの伸展(10メートルのワイヤーを)に成功、さらに巻き取りについても世界で初めて成功しました。実施責任者の静岡大学工学部・能見公博教授は、「今回、テザーを伸ばすだけでなく、巻き取りが繰り返してできるようになったことは大きい。実験は順調に進んでいる」と手応えを語りました。軌道上でテザーを制御する技術は、将来、地上から宇宙へ人や物資を運ぶ宇宙エレベーターの建造や、宇宙デブリ(不要な人工物体などのごみ)のリサイクルへの応用が期待されています。「今後は、テザー上で衛星を動かす実験や搭載カメラによる映像確認や、地上からの光学観測にも挑戦していきます」(能見教授)。ますます目が離せなくなります。どうぞご期待ください。

## 静岡大学未来創成基金 寄附者芳名一覧

教育・研究・社会連携を推進する財政基盤を強化するため、平成24年度に創設した基金です。ご寄附をいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

(五十音順)

### 〔個人〕

|          |          |          |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 青島 大太郎 様 | 青野 博美 様  | 青野 吉晃 様  | 青藤 唯 様   | 秋元 菜摘 様  | 浅井 仁 様   | 朝倉 丈夫 様  | 阿隅 敏明 様  |
| 足立 真里奈 様 | 新垣 裕康 様  | 荒木 信幸 様  | 五十嵐 博 様  | 池谷 和洋 様  | 池谷 太一 様  | 石井 潔 様   | 石川 邦夫 様  |
| 石塚 千吾 様  | 石瀬 史朗 様  | 石田 勝啓 様  | 石田 孝子 様  | 石田 正彦 様  | 石橋 伸之 様  | 石原 芳朗 様  | 泉地 航平 様  |
| 市野 照雄 様  | 出野 光雄 様  | 伊藤 悟 様   | 伊東 孝之 様  | 伊藤 正明 様  | 稲川 修 様   | 稲越 雄司 様  | 猪川 洋 様   |
| 今井 秀一 様  | 岩ヶ谷 照義 様 | 岩田 昭夫 様  | 岩淵 憲二 様  | 岩堀 全進 様  | 魚返 恭二 様  | 鷗嶋 永人 様  | 牛尾 邦彦 様  |
| 牛越 淳太郎 様 | 白井 章 様   | 白井 智 様   | 内山 季之 様  | 内山 武士 様  | 内山 文宏 様  | 宇野 五郎 様  | 宇野 幹夫 様  |
| 浦上 保明 様  | 遠藤 裕 様   | 生形 一 様   | 及川 皓右 様  | 大石 彰持 様  | 大石 銃太郎 様 | 大澤 哲夫 様  | 大島 律子 様  |
| 大谷 昌司 様  | 太田見 義雄 様 | 大塚 美佐 様  | 大野 圭哉 様  | 大野 浩一 様  | 大野 裕之 様  | 大場 建二郎 様 | 大橋 敬義 様  |
| 大村 高弘 様  | 岡端 隆 様   | 岡本 幸夫 様  | 沖野 貴彦 様  | 荻野 康平 様  | 奥井 悠介 様  | 小楠 一 様   | 奥村 功 様   |
| 奥村 秀生 様  | 奥村 道男 様  | 尾崎 英弘 様  | 落合 暁雄 様  | 小野田 康雅 様 | 尾原 航平 様  | 笠森 太郎 様  | 柏瀬 祥一 様  |
| 柏田 茂 様   | 柏田 潤 様   | 梶原 重則 様  | 春日部 仁之 様 | 風神 裕 様   | 片岡 増美 様  | 勝沢 英夫 様  | 加藤 浩三 様  |
| 加藤 俊一 様  | 上條 勝弘 様  | 神谷 貴志 様  | 亀山 祥弘 様  | 河合 貴芳 様  | 川上 翔太郎 様 | 川口 健典 様  | 川口 准 様   |
| 川尻 邦夫 様  | 河田 香苗 様  | 川端 浩和 様  | 河部 祥明 様  | 菅 晃 様    | 岸上 顕義 様  | 喜多 隆介 様  | 木村 隆一 様  |
| 木村 大作 様  | 木村 肇 様   | 木村 浩 様   | 木村 雅和 様  | 菅 晃 様    | 京極 義明 様  | 串田 東作 様  | 木村 東子 様  |
| 久保田 幸夫 様 | 倉田 豊 様   | 桑原 彬 様   | 桑原 不二朗 様 | 小池 博 様   | 高妻 孝次 様  | 國賀 泰廣 様  | 小寺 克義 様  |
| 小山 芳明 様  | 近藤 正博 様  | 近藤 光重 様  | 齋藤 康祐 様  | 齋藤 茂和 様  | 高妻 孝次 様  | 酒井 浩一 様  | 坂内 允昭 様  |
| 坂尾 宣徳 様  | 坂田 初恵 様  | 佐久間 範明 様 | 齋藤 史朗 様  | 齋藤 翼 様   | 齋藤 久美 様  | 酒井 建志 様  | 佐野 雅一 様  |
| 塩谷 勲 様   | 繁田 大作 様  | 柴田 伸吉 様  | 櫻井 興二 様  | 清水 昭弘 様  | 清水 三敏 様  | 荘保 誠二 様  | 新庄 和正 様  |
| 神代 啓 様   | 末武 雅晴 様  | 菅 友廣 様   | 杉田 篤史 様  | 杉山 高広 様  | 杉山 光義 様  | 鈴木 淳之 様  | 鈴木 公男 様  |
| 鈴木 浩二 様  | 鈴木 壯兵衛 様 | 鈴木 利之 様  | 鈴木 迅 様   | 鈴木 秀幸 様  | 鈴木 裕志 様  | 鈴木 正孝 様  | 鈴木 基夫 様  |
| 鈴木 康朗 様  | 芹田 定身 様  | 田井 伸幸 様  | 平良 亮 様   | 平野 隆志 様  | 高橋 章 様   | 高橋 泉 様   | 高橋 浩一 様  |
| 高橋 重之 様  | 高見 一正 様  | 高山 寿一 様  | 竹内 節衛 様  | 武田 充弘 様  | 多田 和照 様  | 橋 大 様    | 立岡 浩一 様  |
| 田中 和裕 様  | 田中 晃太 様  | 田中 洋 様   | 棚橋 孝孝 様  | 谷口 訓 様   | 田幡 利典 様  | 田村 昌三 様  | 田村 善輝 様  |
| 津田 丈夫 様  | 土屋 淳一 様  | 筒井 克明 様  | 寺島 誠 様   | 土井 啓聖 様  | 道喜 道忠 様  | 遠井 義興 様  | 戸崎 敏 様   |
| 富田 孝之輔 様 | 富田 俊彦 様  | 富羽 清 様   | 友利 征司 様  | 外山 勇賢 様  | 仲川 勝彦 様  | 中澤 謙太 様  | 長澤 晶三郎 様 |
| 中島 一郎 様  | 中村 喜十郎 様 | 中村 公之 様  | 中村 禎之 様  | 中村 聡 様   | 中村 茂春 様  | 中村 志郎 様  | 中村 敬 様   |
| 中村 恒子 様  | 中村 富士夫 様 | 名倉 修 様   | 夏目 常磐 様  | 夏目 文雄 様  | 成岡 孝行 様  | 成島 吉則 様  | 難波 宏樹 様  |
| 新村 秀雄 様  | 西 善正 様   | 西尾 國夫 様  | 西原 純 様   | 西村 則哉 様  | 丹羽 康雄 様  | 野嶋 吉男 様  | 野田 直剛 様  |
| 芳賀 利允 様  | 袴田 博之 様  | 島山 和佳 様  | 浜崎 大平 様  | 浜田 恵美 様  | 原 康久 様   | 林 康久 様   | 原川 綾子 様  |
| 日誌 一幸 様  | 平野 哲郎 様  | 平野 正和 様  | 広崎 行博 様  | 深津 勲己 様  | 福田 雅澄 様  | 藤枝 正直 様  | 藤岡 換太郎 様 |
| 藤田 俊幸 様  | 藤田 道朗 様  | 藤田 祐三 様  | 藤田 幸宏 様  | 藤森 正 様   | 船矢 敏朗 様  | 古川 勝博 様  | 古川 真 様   |
| 古田 次男 様  | 柞山 久典 様  | 堀田 徹 様   | 堀 嘉七 様   | 堀井 洋之介 様 | 堀内 昊治 様  | 堀木 昌彦 様  | 本多 和彦 様  |
| 本田 大介 様  | 前川 整洋 様  | 前田 成子 様  | 前田 和敬 様  | 前田 賢二 様  | 増子 善昭 様  | 増子 善昭 様  | 松井 裕敏 様  |
| 松岡 忠隆 様  | 松崎 俊一 様  | 松田 哲章 様  | 松田 宏 様   | 松原 章五 様  | 松村 芳男 様  | 松本 秀敏 様  | 松山 圭佑 様  |
| 三浦 政勝 様  | 三重野 哲 様  | 三上 宗紀 様  | 水品 静夫 様  | 水谷 久永 様  | 水野 和亮 様  | 水野 敏雄 様  | 水野 晴彦 様  |
| 水村 壽 様   | 三谷 信司 様  | 藪島 伸生 様  | 三村 宗一 様  | 御室 聡一郎 様 | 宮入 光治 様  | 宮越 勇希 様  | 宮崎 裕充 様  |
| 宮崎 真 様   | 三輪 洋大 様  | 望月 裕介 様  | 森 裕一 様   | 森川 厚孝 様  | 森田 健次 様  | 森田 英一 様  | 森本 洋幸 様  |
| 八木 啓太 様  | 八木 寿治 様  | 梁島 宏光 様  | 柳瀬 齊彦 様  | 谷野 剛一 様  | 山崎 隆久 様  | 山田 修寧 様  | 山田 信 様   |
| 山田 豊 様   | 山本 純平 様  | 山本 章二 様  | 山本 賢秀 様  | 遊橋 裕泰 様  | 横井 裕也 様  | 横山 正志 様  | 横山 政則 様  |
| 吉岡 猛 様   | 吉田 圭介 様  | 吉田 博一 様  | 吉見 彰郎 様  | 吉村 義典 様  | 吉本 武 様   | 若宮 達也 様  | 和田 実 様   |
| 渡瀬 武彦 様  | 望月 秀男 様  | 古川 達也 様  |          |          |          |          |          |

### 〔法人等〕

|                        |                     |                    |
|------------------------|---------------------|--------------------|
| 一般財団法人鎌倉フェローシップ 様      | SUS株式会社 様           | 株式会社サラーコーポレーション 様  |
| 株式会社静岡アグリビジネス研究所 様     | 株式会社トリム 様           | 株式会社日本設計工業 様       |
| 静岡大学教育学部附属浜松小学校(PTA) 様 | サラーエナジー株式会社 様       | サンエンコンサルティング合同会社 様 |
| ダイキン工業株式会社 様           | 日本中央競馬会 様           | 浜松工業会 長野支部 様       |
| 浜松工業会 浜松支部 様           | 浜松工業会 浜松支部Uターン相談室 様 | 理研軽金属工業株式会社 様      |

\*ご芳名は、原則令和3年2月1日から令和3年7月31日までの間にご寄附いただき、公開についてご承諾いただきました方について掲載しております。なお一部、クレジット等含めご入金日より、前回掲載分に間に合わなかった寄附者の方々もあわせて掲載しております。ご入金が未確認の皆様については、今後、ご入金の確認ができた次第、順次、広報誌に掲載させていただきます。

## 令和2年度 基金活用のご報告

皆様からのご寄附は、主に以下の事業に活用させていただきました。ここに ご報告申し上げます。誠にありがとうございました。  
・アジアブリッジプログラム事業(約1900万円)  
・馬術部活動支援事業(約370万円)  
・浜松キャンパス100周年記念事業(約330万円)

## 今後とも温かいご支援をお願いいたします

未来創成基金へのご寄附は、郵便振替やインターネットからのお申込み(銀行振込・クレジットカード決済等)をご利用いただけます。くわしくはウェブサイトをご覧ください。

## 静岡大学未来創成基金ウェブサイト

<https://www.shizuoka.ac.jp/fund/>

静岡大学学舎  
電話:054-238-4402 E-mail:kikin@adb.shizuoka.ac.jp



ご寄附を  
大切に  
使わせて  
いただいています

By  
馬術部員15名  
&馬6頭

